

保護者の皆様

西東京市立谷戸小学校
校長 野崎 信行

平成29年度 2学期 学校評価アンケート結果

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、12月にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。

同時期に行った1～6年生の意識調査の結果も合わせてご覧ください。

この結果は、保護者・地域の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

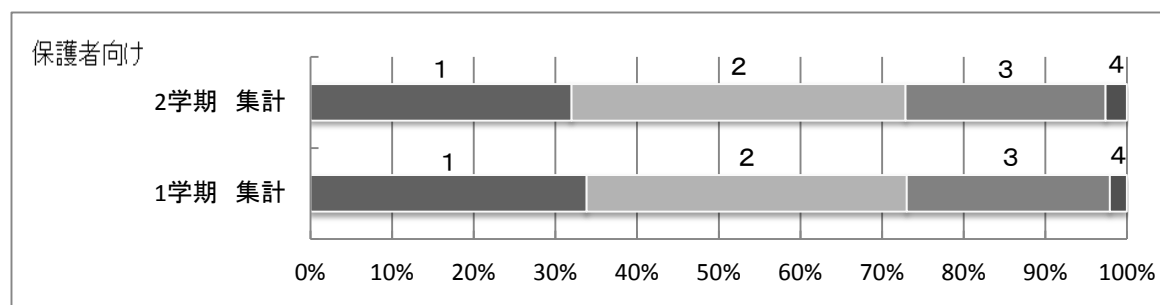
保護者アンケート集計結果(12月)

配布数	回収数	回収率
361	347	96.1%

グラフの色と見方

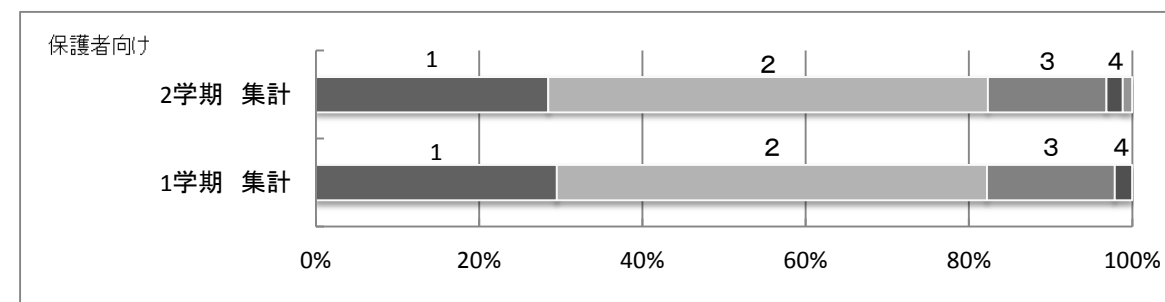
	1. よくあてはまる		3. あまりあてはまらない
	2. 少しあてはまる		4. 全くあてはまらない
			5. 無記入

1. お子さんは、読書に親しんでいる。



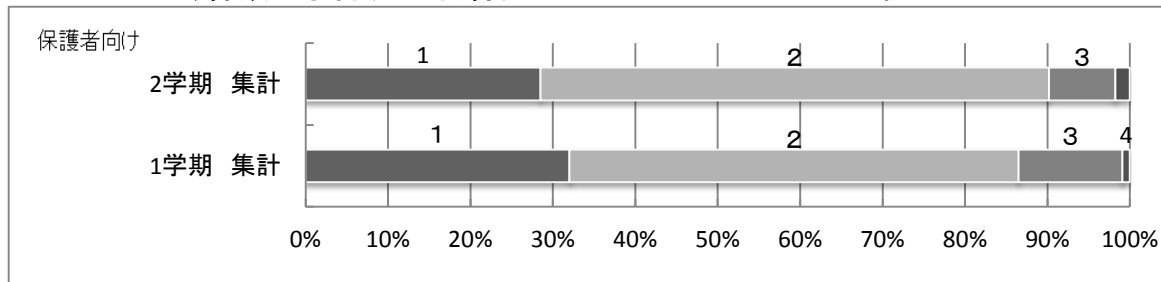
1学期と比べて、よくあてはまるが若干減ってしまいました。しかし、少しあてはまるまで含めると1・2学期ほぼ変わらない結果です。学校では、図書室や谷戸っ子ルーム掲示板の読書に関わる掲示、本に関わるビンゴカードや本の福袋等、学校司書と教員とが連携し、本に親しむ活動を行っています。また、保護者の方の読み聞かせボランティアも、子供たちと楽しい本が出会う場となっています。今年は11月に、低学年では親子読書にも取り組みました。今後も読書を進める活動を続けていきます。

2. お子さんは、国語の学習(主に漢字等の読み書き)がおおむね正しくできている。



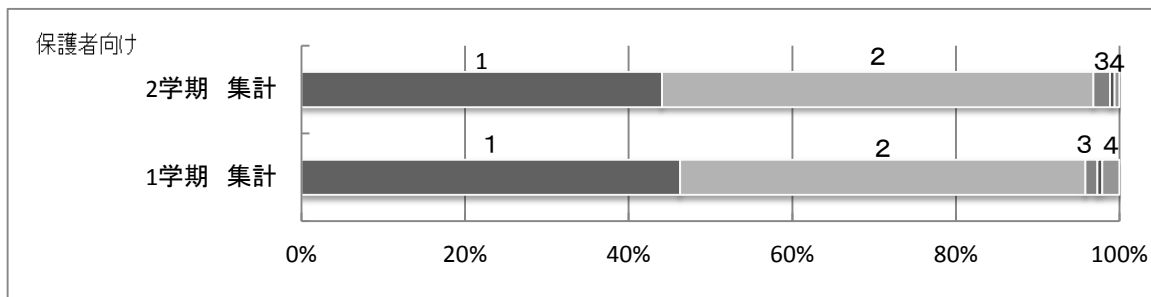
1学期と比べ、大きな変動はありません。「少しあてはまる」が最も多いので、「よくあてはまる」が増えるように手立てを講じます。日々の書き取り学習に加え、作文指導を通して、既習の漢字を使用する力を高めていきます。

3. お子さんは、算数の学習(主に計算)がおおむね正しくできている。



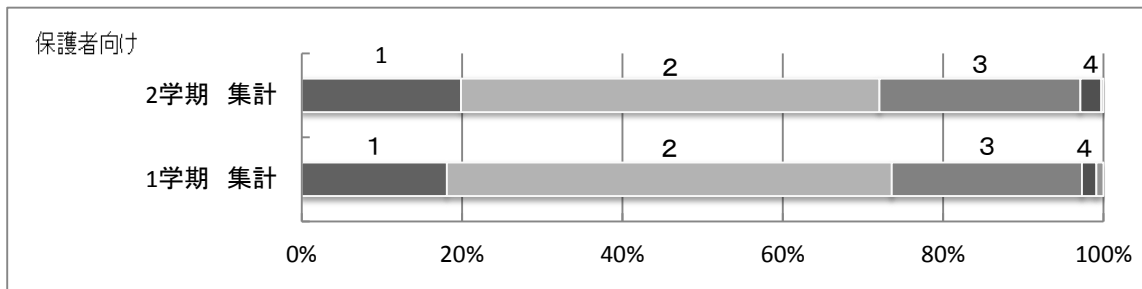
2学期で「少しあてはまる」がやや増え、「あまりあてはまらない」がやや減り、全体的には学習の成果を感じていただいています。お子さんが次の学年に向けた意欲をもてるように、3学期も授業改善に取り組みます。6年生は小学校の学習全体のまとめ、他の学年は次の学年につながる内容を学習します。インターネットで「東京ベーシックドリル」を検索すると、学校で取り組んでいる「東京ベーシックドリル」が家庭でもできます。今後ともご家庭での、今までの取り組みを継続していただければ幸いです。

4. 教師は、考えを伝え合う話し合いや発表することを大切にして授業をしている。



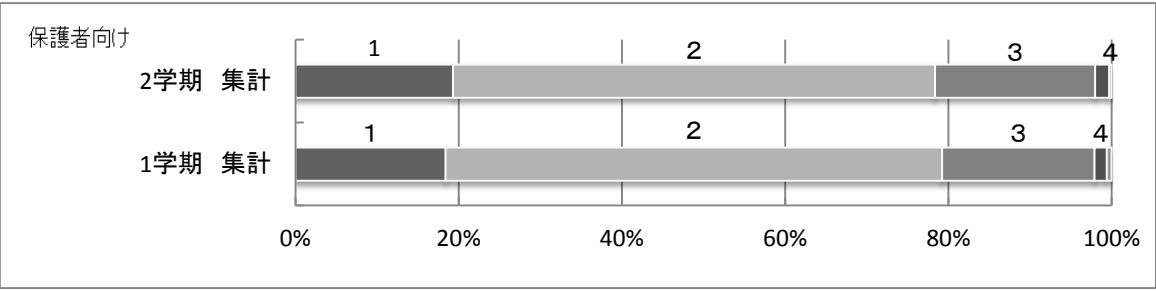
「よくあてはまる」と「少しあてはまる」を合わせると90%を超えています。全ての学習の基本となる言語活動の技能を身に付けるために、朝・帰りの会も含めて話す・聞く活動を取り入れるよう全校で取り組んでいます。低学年では、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えるための話型の指導をしています。中・高学年では、友達の意見と関連付けて話し合ったり、的確に質問をしたりするための観点を具体的に示して指導にあたっています。音声言語教育の基本となる国語科を中心に、他の教科でも意識して取り組み、さらに力が付くよう努力していきます。

5. お子さんは、「げんきいっぱいカード」の取り組みで、意識して規則正しい生活をしている。



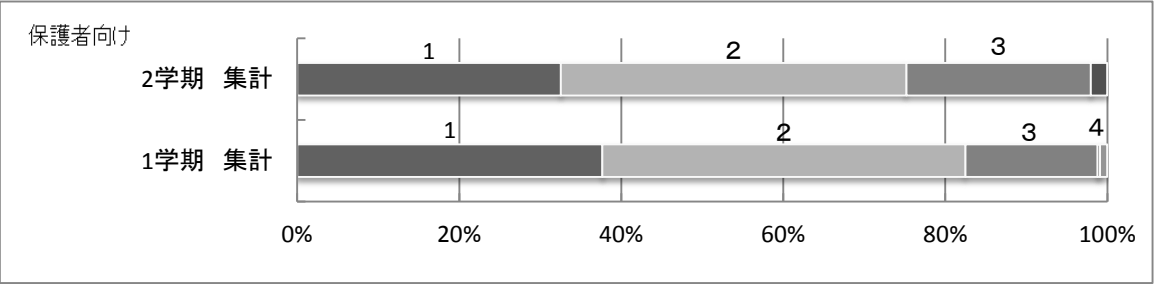
音楽会、展覧会と行事が続き、児童の健康状態が心配されましたが、ご家庭の協力もあり、無事に終えることができました。普段から家庭で生活習慣に対して意識をして生活をしてくださっている成果だと感謝しています。「げんきいっぱいカード」の実施を通して、自分の生活を意識して過ごすことの積み重ねが、健康で元気に生きていく礎になると実感できるよう努めていきます。

6. お子さんは、家族や地域の人、学校の先生、友達に対してすすんで挨拶をしたり言葉遣いを大事にしたりしている。



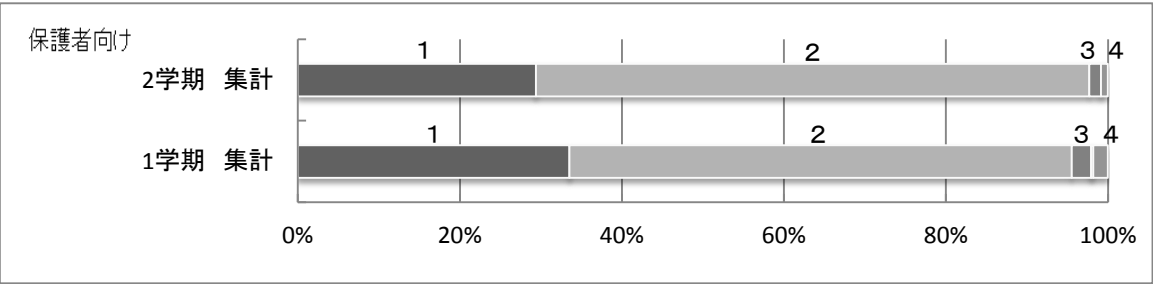
今年度も、6年生が「あいさつ運動」を実施しています。元気のよい挨拶が学校中に広がるよう今後も指導していきます。また、言葉遣いについては、「ズキズキ言葉は言い直し」「よびすて禁止」など、児童の成長段階に合わせ、他者を尊重できる言葉の使い方を目指しています。

7. お子さんは、外遊びや運動をする習慣が付き、体力が向上している。



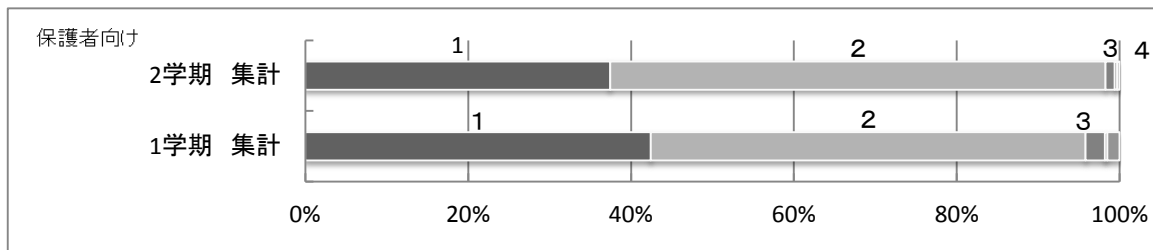
約8割の児童が外遊びをする習慣を身に付けていますが、2学期の後半になってくると、寒さが厳しくなってくるに従って、外遊びの習慣が崩れがちになってしまいます。2学期は、長縄ジャンプアップや短縄ジャンプアップの取り組みを実践しました。また、3学期にはマラソンジャンプアップに取り組みます。習慣的に運動や外遊びをできるよう、これからも休み時間や放課後、休日でも体力の向上を目指すことができるような取り組みを続けていきます。

8. 学校は、安心した学校生活を送れるようにするために生活アンケートや面談に取り組んでいる。



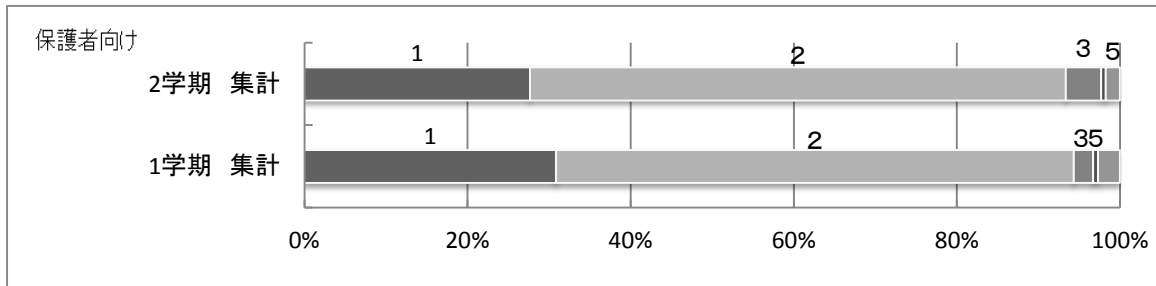
児童に対して、毎学期、生活アンケートと全員面談を行っています。生活アンケートをとおして、児童が抱えている問題を早期に発見し、対応しています。都スクールカウンセラーによる全員面接も、5年生で行いました。また保護者の方に対しては、全員対象の面談や希望個人面談の時間を設けています。面談期間以外でも、お子さんの様子で気になることがあれば、いつでもご相談ください。

9. 学校は、教育方針や教育活動について、学校便り、学年・学級便り、保護者会、ホームページなどでよく伝えている。



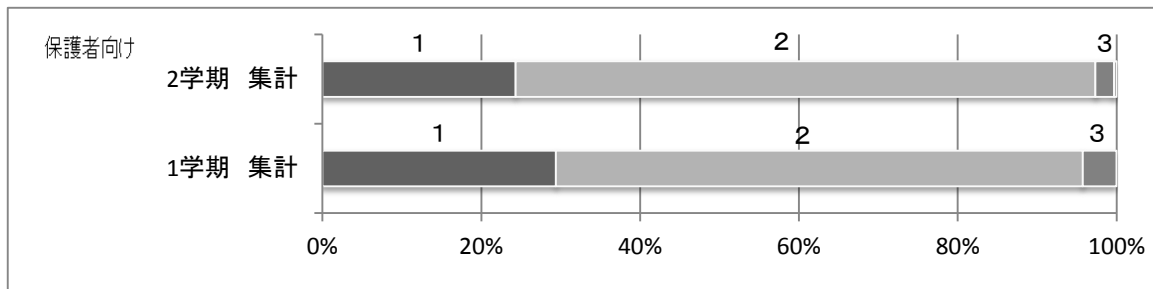
1と2で90%以上になっています。ホームページも、月2回程度の更新を行いました。今後も学校や児童の情報を分かりやすくお知らせできるようにしていきます。

10. 学校は、特別支援教育をはじめ、児童一人一人を大切にしたい教育支援を行っている。



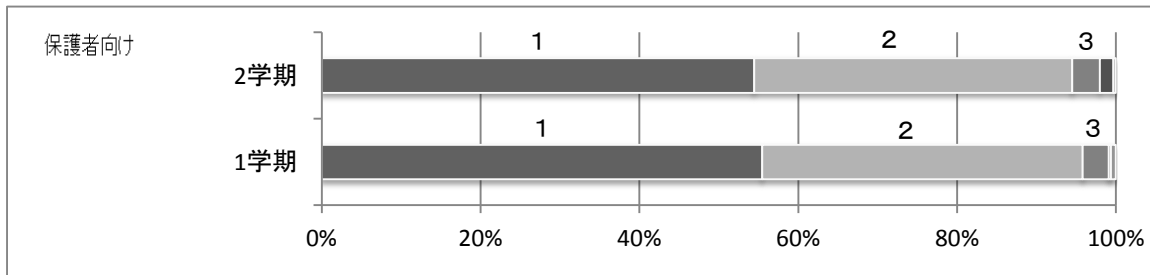
特別支援教育についての理解が浸透し、学校公開日の「支援相談会」などでお子さんのまなび方や、課題についてご相談いただくことが増えました。家庭でできる支援方法や学びの道筋などをお伝えできる機会を増やしていきたいと思っています。同時に、次年度は特別支援教室での指導についてもお伝えする機会を増やし、より子供たちの困り感により添える指導を目指したいと思っています。ご協力お願いします。

11. 学校は、外部教育力として、地域・保護者の協力を得て学校教育の充実を進めている。



今年度も地域や保護者の方の協力を得て、恒例の茶道体験や算数教室などを行いました。さらにオリンピック・パラリンピック教育の一環として、今年度は谷戸小出身の森蘭選手をお迎えして学習することができました。子供たちは、その道に長けていらっしゃる方からの生の授業を受けて意欲的に取り組みました。校外学習の引率、調理の補助なども多くの方にご協力いただいていることも大変ありがたいです。今後も、皆様の協力を得ながら、学校教育の充実を進めていきます。

12. お子さんは、楽しく学校に通っている。

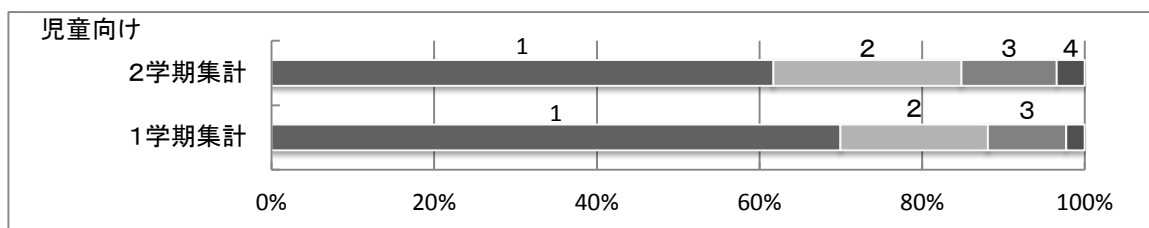


学校では、授業改善や生活指導など、様々な面からの取り組みをしています。「楽しく通っている」がさらに増えるよう、担任をはじめ学校職員とご家庭の連携を密にして、児童が目標をもち、安心して登校できるように努力していきます。

— 児童向けアンケート結果 —

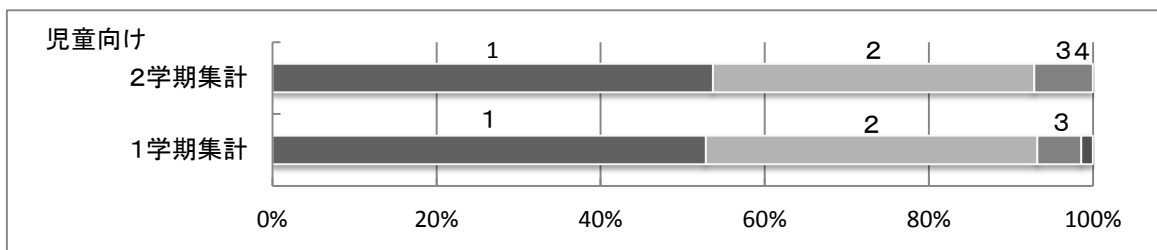
2～6年生の児童に実施しました。

1. 1週間に1冊以上の本を読んでいる。



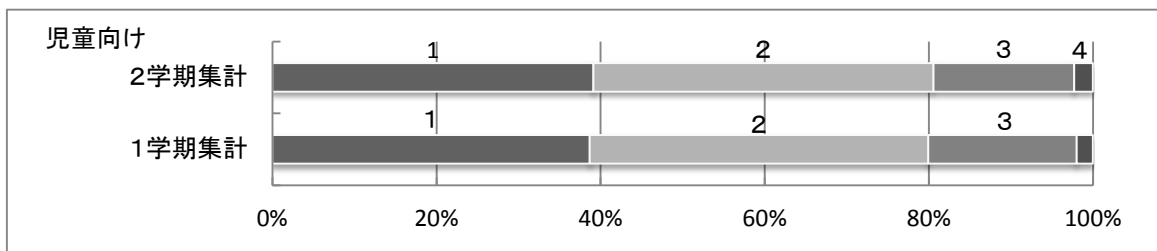
2学期になり1週間に1冊以上の本を読む児童が減りました。どの学年もだんだんと児童の選ぶ本の1冊のページ数も多くなっていることも原因があるかもしれません。学校では、朝読書や図書の時間を使ってどの教室でも集中して読書に取り組んでいる姿が見られます。一部、読むことが苦手な児童もいるので、進んで読書を楽しめる児童の育成を行っていきます。

2. 授業に一生懸命、参加している。



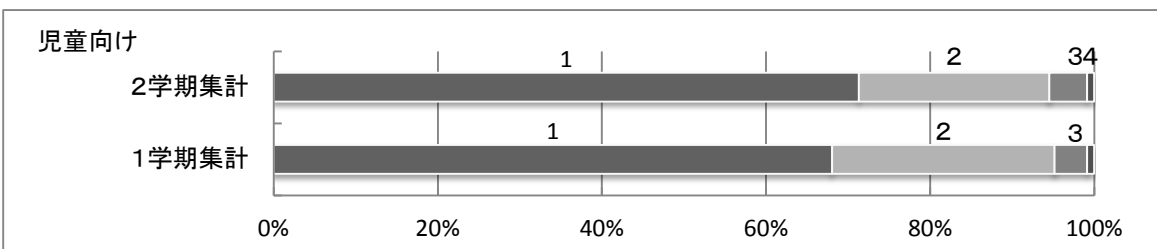
集計結果に大きな変化はありませんが、多くの子が積極的に授業に参加していることが分かります。指導者が一人一人の頑張りを価値付けることで、子供たちの参加意欲が向上していると推測できます。結果だけでなく、学びに向かう力やその過程を価値付けることで、参加意欲を高めています。

3. 話し合いや発表会で自分の考えを伝えることができる。



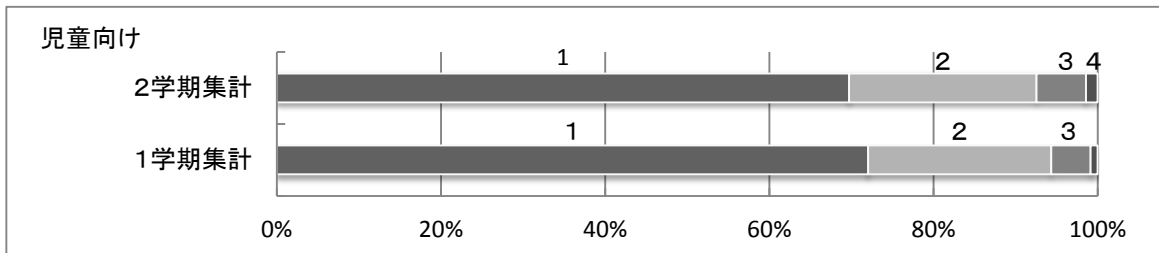
集計結果に大きな変化はありませんが、多くの子が表現に対する意欲や達成感をもっていると考えられます。指導者は、子供たちの表現力を向上させるために、ペアやグループで話し合う活動を授業に取り入れたり、子供たちが話し合いたい質問を投げかけたりしています。

4. 授業は分かるようになったり、できるようになったりしている。



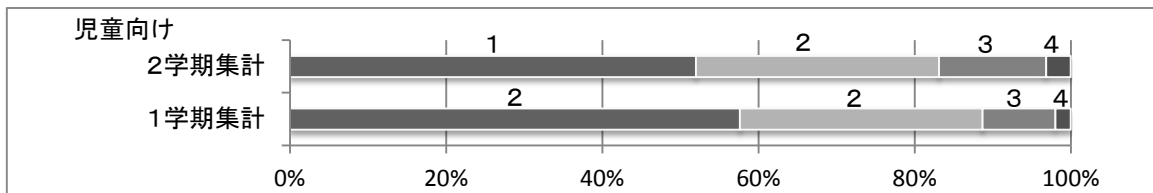
集計結果を見ると、「よくあてはまる」の数が増えています。今後も「よくあてはまる」が増えるよう、視覚的な配慮や個別の支援を心掛けていきます。

5. 体育の時間は、たくさん運動している。



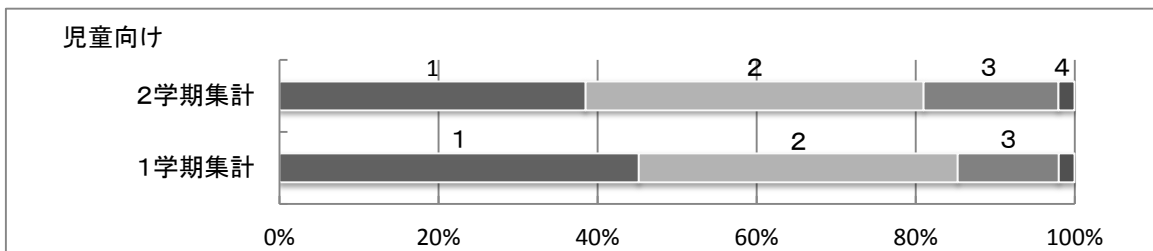
90%以上の児童が、体育の時間によく運動をしています。授業では、準備運動から汗をかけるように、また、運動する時間を多くとるように計画をしています。学年にふさわしい技に取り組んだり、ゲームのルールを工夫したりして、「わかった」「できた」を感じられる学習をしています。

6. ジャンプアップで、外遊びや運動する習慣がついている。



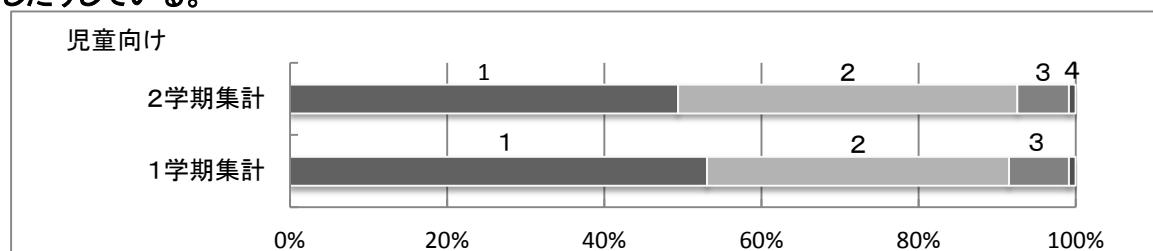
1学期に比べると寒い時期になり数値は下がっていますが、80%以上の児童が外遊びや、運動をする習慣が身に付いています。遊びの中で体力を向上させるだけでなく、人間関係や遊びの決まりを学びます。今後も、現在取り組んでいるジャンプアップを活用しながら、休み時間、放課後、休日に運動や外遊びを行えるよう奨励していきます。

7. 「げんきいっぱいカード」の取り組みで、意識して規則正しい生活をしている。



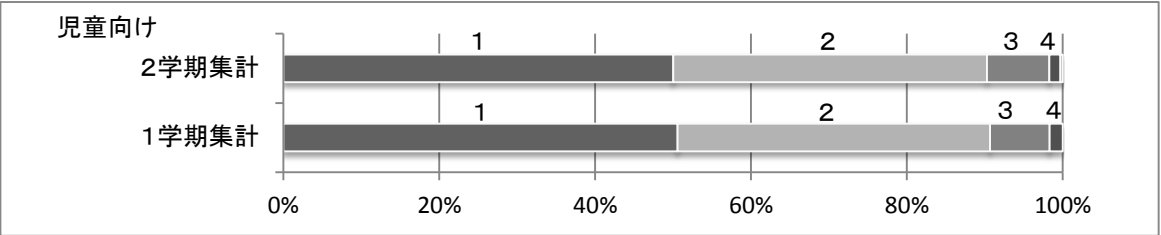
「げんきいっぱいカード」を活用して、自分の生活習慣を見直している児童が80%います。保護者の方からも「子供がやる気になってくれるし、生活習慣の見直しになります。」との声もありました。引き続き、げんきいっぱいカードを用いて、意識を高めていきます。

8. 家族や地域の人、学校の先生、友達に対してあいさつやありがとうの言葉を言ったり正しい言葉遣いをしたりしている。



約85%の児童が、挨拶や言葉遣いを意識して過ごしているようです。学校生活では教員への言葉遣いは意識できているようですが、友達同士などの普段の場面では使いこなせていない様子が見られます。また、登下校でお世話になる交通擁護員や内外清掃員への挨拶も少ないと感じます。自分のまわりにいる方々への挨拶や言葉遣いをもう一度見直ししながら、さらに意識できるような取り組みを続けていきます。

9. よいクラスになるように、みんなで協力している。



よいクラスにするために「学級力アンケート」の取り組みをしています。アンケート結果から、児童がよりよいクラスにするためにどうしたらよいかを考え、クラスのめあてを決めました。1・2学期ともに約90%の児童がよいクラスにしようと考え、協力しています。

お忙しい中、学校評価にお答えいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に、本校の教育活動に生かしてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いします。

